

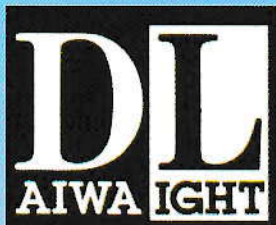


ダイワハイボード

耐火化粧野地板

プール用

ダイワ 大和建材工業株式会社



耐湿

ダイワハイボードプール用は、室内プール・温水プール・野外ステージ競技場のスタンド等耐湿性を要する建築物の屋根野地材として、耐火・耐湿・断熱・化粧等に優れた材料です。



■耐湿性・防カビ性

ダイワハイボードプール用は、炭酸カルシウム系発泡板と木毛セメント板とを貼り合わせた耐湿、耐塩素、防カビ性に優れた屋根野地材です。また、塩素等に耐えうる接着剤を塗布しボードからの透湿も極力小さくしてあります。

■耐火性

ダイワハイボードプール用は、屋根の耐火30分の認可を受けています。(国土交通省指定 FP O30RF-9135、O230、O227-1(2)、1825-1(3)(4))屋根の材料は不燃金属であればすべて使用できます。

■化粧性

炭酸カルシウム系発泡板の表面に防カビ材を添加した白色塗料を塗布してあります。又御希望色がございましたらご相談下さい。

■用途

室内プール・温水プール・野外ステージ競技場のスタンド等で天井の無い場合の屋根野地材で耐湿、防カビ、耐塩素等の対策を施した製品で必要な付属部材の提供もさせていただきます。

ダイワハイボード(プール用)製品規格

厚さ	30mm+0-2
大きさ	910mm×1,820mm
重量	18kg/㎡ 以上
かさ密度	0.6以上
曲げ破壊荷重	1,960N以上 JIS A1408による
熱伝導率	0.066W/m・K

国土交通省指定 FP030RF-9135 FP030RF-0230,0227-1 (2)

屋根・30分耐火ダイワハイボード(プール用)

大和建材工業株式会社

■取扱上の注意

- 積み降しのとき角を損傷しないように注意する。
- ロープなどでつり上げるときは当て板などを用い損傷に注意する。
- 保管場所は原則として屋内に保管し、やむを得ず屋外に置く場合は地面に直接置かず出来る限り水平な場所にかい木を敷き、雨水が入らない様に防水シートをかける。

■耐火屋根の標準仕様(施工法)

- はり1時間耐火被覆を行う。但し、平成12年建設省告示1399号第四・三の二の場合は耐火被覆をしなくてもよい。
- 母屋はC-100×50×20×2.3以上とし、ピッチ910mm以内とし、はりには、熔接又はピースをかけてボルト等で留付け1時間耐火被覆を行う。但し、平成12年建設省告示第1399号第四・三の二の場合は耐火被覆をしなくてもよい。
- 野地板(ダイワハイボードプール用(30mm))を母屋の上に敷き母屋方向接合部にT型ジョイナーを入れる。
- アスファルトルーフィング(17kg以上)を重ねしろ100mm以上取って敷く。
- 鉄板瓦棒(厚0.4mm)の場合は通し吊子を取り付け、タッピングビス(6φ×40mm)によって母屋に固定する。瓦棒間隔は418mm以上とする。



施工上の注意

- 安全対策上タルキのない部分には乗らないようにしてください。踏抜き防止、墜落防止のため、足場板を使用するか、安全ネットを張ってから作業を行ってください。

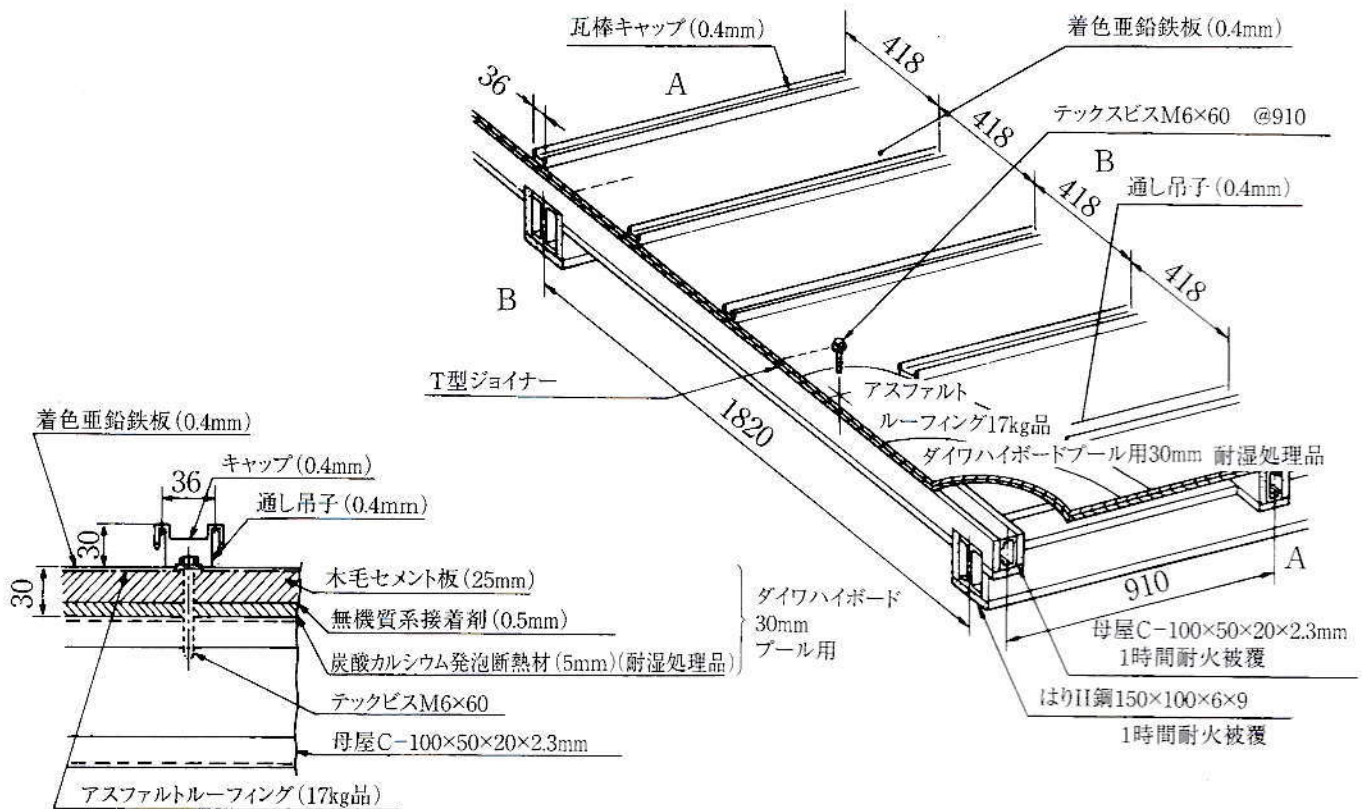
■ダイワハイボードプール用についてのお問い合わせ

- その他ご不明の点がございましたらご遠慮なくお電話をいただき係員にお尋ねくださるか、設計条件等ご希望の事項をお聞かせ願ひご依頼があればご説明に伺います。せいぜいご利用願えれば幸いです。

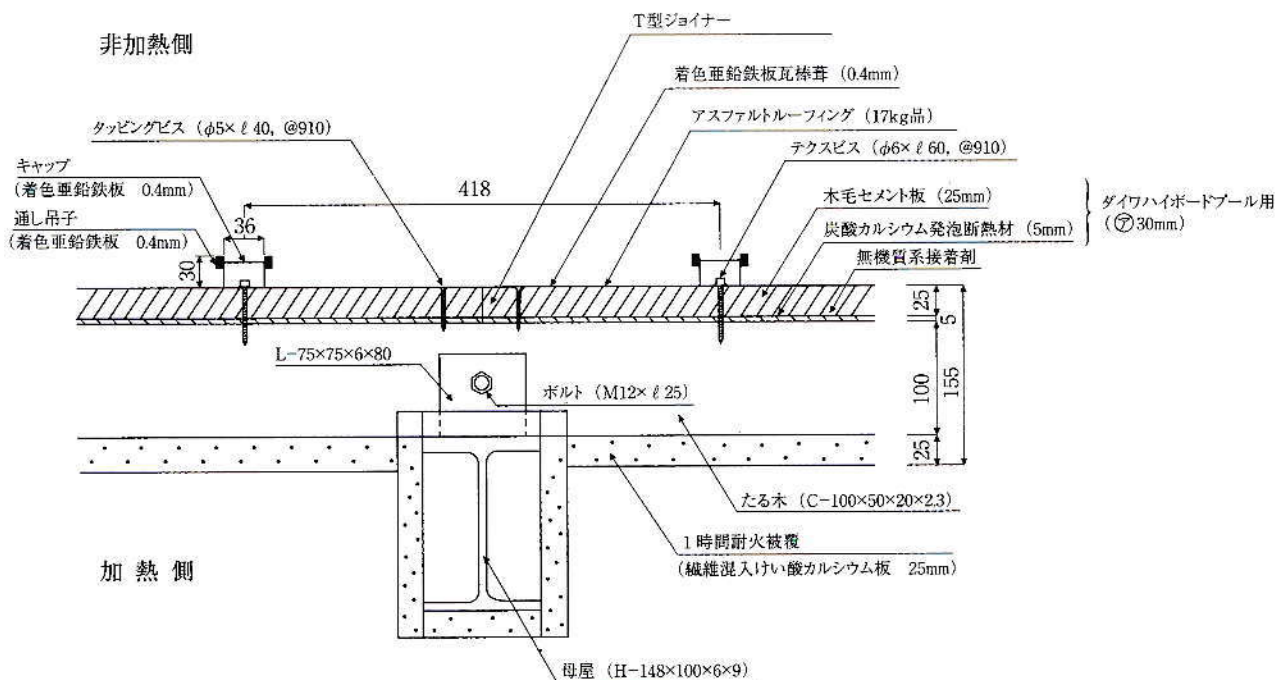
標準設計図

ダイワハイボードプール用耐火屋根 (国土交通省指定 FP030RF-9135)
 木毛セメント板 (25mm)、炭酸カルシウム発泡断熱材 (5mm)
 (耐湿処理品) ⑦ (30mm)、積層板/金属板葺屋根

水平断面図

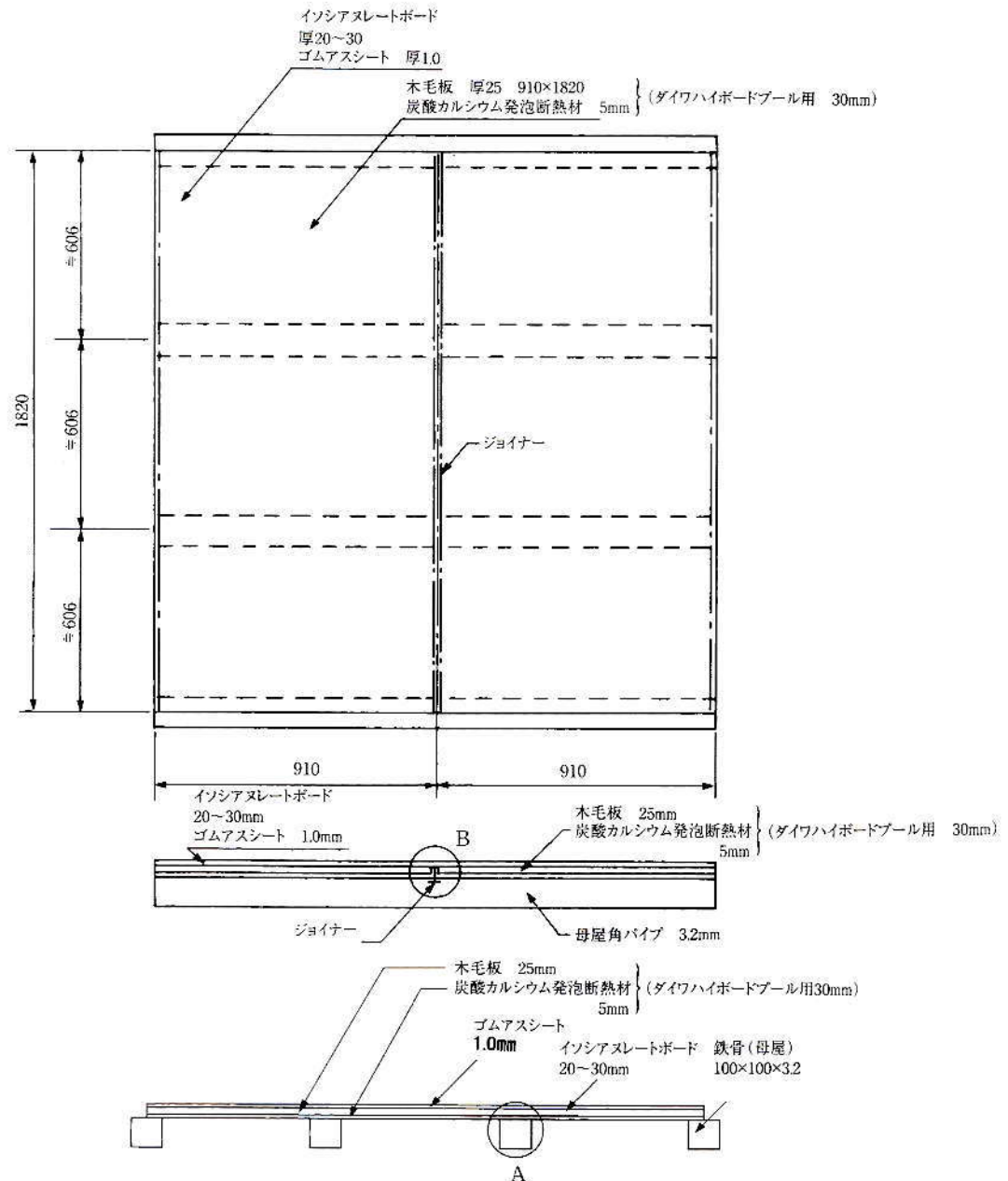


鉛直断面図

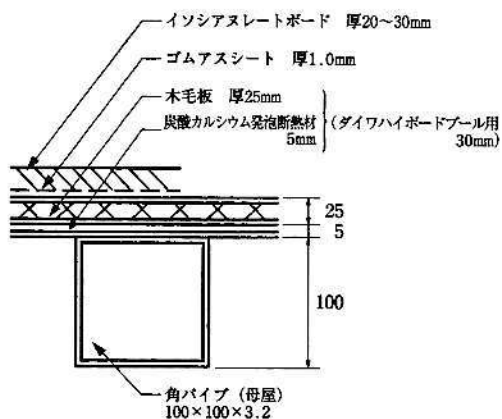


■ダイワハイボードプール用(耐湿用)標準施工詳細図

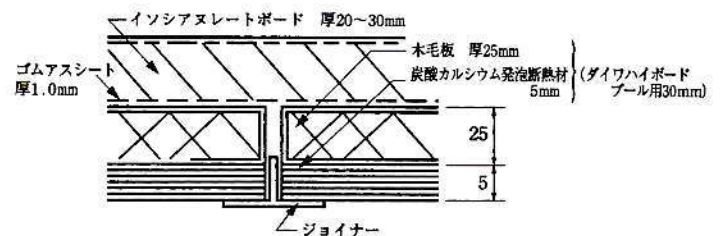
温水プール 国土交通省指定 FP03ORF-0230 FP03ORF-0227-1 (2)



〔A断面図〕



〔B断面図〕



※温水プールのご設計の際には、防カビ、耐塩素、結露防止等の対策として、十分な換気を行うよう考慮してください。
※ご採用の際には、プール用・温水プール用とご明記ください。

①屋根葺材料

	(厚さmm)	(認・指定番号)	(JIS規格)
溶融亜鉛めっき鋼板	0.4以上	不燃 NM-8697	JIS G 3302
着色亜鉛めっき鋼板	0.4以上	不燃 NM-8697	JIS G 3312
塩化ビニル樹脂金属積層板	0.4以上	不燃 NM-8674・8696	JIS K 6744
塗装ステンレス鋼板	0.4以上	不燃 NM-8326	JIS G 4305
合金めっき鋼板	0.4以上	不燃 NM-8697	
伸銅品(板、条及び管)	0.4以上		JIS H 3100
亜鉛鉄板(化粧)	0.4以上	不燃 NM-8340	
チタン展伸材	0.4以上	不燃 NM-8596	JIS H 4630
高耐候性圧延鋼板	0.4以上		JIS G 3125
溶融アルミめっき鋼板	0.4以上	不燃 NM-9583	JIS G 3314
亜鉛合金鋼板	0.4以上		JIS H 4321

②野地板(炭酸カルシウム発泡断熱材裏張木毛セメント板)

i) 木毛セメント板(準不燃QM9070)

イ) 形状・寸法

形状: 平板

粗面

厚さ: 25mm + 1mm, - 2mm

30mm + 1mm, - 2mm

40mm + 1mm, - 2mm

50mm + 1mm, - 2mm

幅: 910mm + 1mm, - 2mm

長さ: 1820mm + 1mm, - 2mm

認定書

国住指第 2067 号
平成 19 年 10 月 3 日

大和建材工業株式会社
代表取締役 岡本 健太郎 様

国土交通大臣 冬柴 鐵



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号(屋根: 各 30 分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-0230
2. 認定をした構造方法等の名称
鋼板・イソシアヌレートフォーム保温板・木毛セメント複合板裏張/軽量鉄骨下地屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

認定書

国住指第 384 号
平成 14 年 2 月 4 日

大和建材工業株式会社
代表取締役 岡本健吉 様

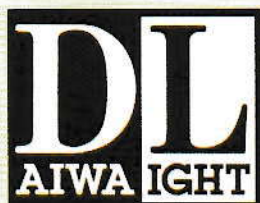
国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 7 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号(屋根: 各 30 分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-0135
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
炭酸カルシウム発泡断熱材裏張/木毛セメント板野地板着色亜鉛めっき鋼板葺屋根
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り



データが示す信頼。
機能性あふれる素材力。

炭酸カルシウム発泡断熱材の物性

項 目	単 位	不 燃 材	測 定 法
		不燃個第11707号	
密 度	g/cm ³	0.09	JIS A-9511
圧 縮 強 度	kg/cm ²	1.5	JIS A-9511
曲 げ 強 度	kg/cm ²	3.8	JIS A-9511
引 張 強 度	kg/cm ²	6.5	JIS K-6767
熱 伝 導 率	Kcal/mh°C	0.031	JIS A-1412
熱 貫 流 率	Kcal/m ² h°C	—	JIS A-1420
吸 水 量	g/100cm ²	2.0以下	JIS A-9511
透 湿 係 数	g/m ² hmmHg	0.038	—

※熱貫流率は厚さ45mmの場合

炭酸カルシウム発泡断熱材の耐薬品性

科 学 薬 品	耐薬品性	科 学 薬 品	耐薬品性	科 学 薬 品	耐薬品性
塩酸 10%	×	アンモニア	△	トリクレン	×
塩素ガス (湿)	○	エチルアルコール	△	酢酸エチル	×
塩素ガス (乾)	○	メチルアルコール	×	ガソリン	○
硫酸 10%	×	四塩化炭素	○	灯油	○
酢酸	△	n-ヘキサン	○	テレピン油	○
苛性ソーダ 10%	○	イソプロピルアルコール	○		
苛性ソーダ 40%	△	イソブチルアルコール	○		

○ 使用可 △ 短時間使用可 × 使用不可

● 本試験は、防カビ剤を塗布した炭酸カルシウム発泡材のカビの抵抗性をみることを目的とした。

試験方法—JIS Z2911に準じた方法

試 験 検 体	カビ抵抗性
① ロックセルボード (対照)	1
② 0.2% コートサイド 123塗布 ロックセルボード	3
③ 0.5% コートサイド 123塗布 ロックセルボード	3
④ 0.2% コートサイド 55D塗布 ロックセルボード	3
⑤ 0.5% コートサイド 55D塗布 ロックセルボード	3

*ダイワハイボードプール用には、No.5を使用しています。

試 験 方 法

- ① JIS Z2911に準じた方法によりカビ孢子懸濁液を作製する。
- ② JIS Z2911の繊維のカビ抵抗性試験 (湿式法) に用いる無機塩類寒天平板培地を作製する。
- ③ 試験検体を30×30cmの大きさに切り取り、試験面を②で作製した無機塩類寒天平板培地に密着させる。
- ④ ①で作製したカビ孢子懸濁液0.5mlを試料周辺に均等になるようにまきかける。
- ⑤ 温度28℃±2℃ 湿度95～99%で4週間培養する。
- ⑥ JIS Z2911の結果の表示法に従い菌糸の発育状態を評価する。なお、判定には、必要に応じて顕微鏡による菌糸の発育状態の観察を行う。



■JIS表示認証工場

大和建材工業株式会社

本社・工場 愛知県愛西市西保町南川原98番地
 〒496-0911 TEL.0567 (28) 4940 FAX.0567 (24) 3101
<http://www.daiwa-kenzai.co.jp>

営業品目

- ダイワライト耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9085)
- ダイワライト耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9095) (FP030RF-0579~0584) (FP030RF-1067~1089)
- ダイワライト横葺耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9109)
- ダイワライト遮音耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9110)
- ダイワライト瓦用耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9126)
- ダイワライト耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9117)
- ダイワハイボードプール用耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9135)
- ダイワハイボード温水プール用システム 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-0230, 0227-1 (2))
- ダイワハイボードF 耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-9131)
 国土交通省認定準不燃 (QM-9067)
- ダイワハイボードダンネットR (フェノールタイプ) 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-0106, 0135) (FP030RF-1313~1316)
 (FP030RF-1824 (1)~ (8), 1825 (1)~ (8))
- ダイワハイボードダンネットR (三層タイプ) 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-1824 (9)~ (16), 1825 (9)~ (16)) (FP030RF-1317~1320)
- ダイワハイボードダンネットR (イソシタイプ) 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-0227~0232)
- 木毛パーライトセメント板耐火屋根 国土交通省認定耐火30分 (個) (FP030RF-9133, 9134)
 国土交通省認定準不燃 (個) (QM-9069)
- ダイワライト外壁非耐力耐火壁30分 国土交通省認定耐火30分 (FP030NE-0113, 0166)
- ダイワライト外壁非耐力耐火壁45分 国土交通省認定耐火45分 (QF045BE-9025)
- ダイワライト外壁非耐力耐火壁60分 国土交通省認定耐火60分 (FP060NE-9056) (FP060NE-0164)
- 木毛セメント板各種 国土交通省認定準不燃 (個) (QM-9070)
- ダイワハイボードフェン 国土交通省認定不燃 (NM-0597, FP030RF-1084-1)
 (不燃木毛セメント板)
- ダイワハイボード中質、硬質 国土交通省認定耐火30分 (FP030RF-1065~1089)
- 木毛セメント板用T型ジョイナー
- 各種複合板の製造